

情報連絡一覧票（北海道中央会・平成29年5月分）

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製	食料品	水産食料品	・各種調査の回答をみても、業界の景況悪化、収益状況悪化、採算赤字の回答が多く寄せられている。 (留萌)
		めん類	・経営者が体調不良で、加えて後継者もおらず、廃業しなければならない組合員がいる。地方では特に販売先の減少により収益が悪化し、後継者をつくることができず、やむを得ず廃業となるところが増えている。 (全道)
		味噌・醤油	味噌出荷量(道内)：単月(29年4月) 前年対比 99.3% 醤油出荷量(道内)：単月(29年4月) 前年対比 89.3% ・4月単月(道内)の出荷量は味噌でやや持ち直したものの、醤油の状況は相変わらず悪い。今年1月～4月の道内累計出荷量も、前年対比で味噌93.8%、醤油で90.7%と悪い。味噌の原料米の高騰もあり、当業界の取り巻く環境は依然厳しい。 (全道)
		飲料	・5月は天候にも恵まれ、微かではあるが増加したようです。春の転勤シーズンは女性パート労働者が退職する季節でもあるが、その補充が出来ず多くの事業者が困っている。多少の賃上げは実施しているようだが、大手企業並みの給与水準に近づけることは体力的に無理である。人が見つかるまで現在の人員で遣り繰りするが、休日労働や残業が増えることになり、政府の「働き方改革」に逆行するような現状にジレンマを感じる経営者は少なくない。 (全道)
業	木材・木製品	一般製材	・カラマツ、エゾ・トドマツともに、製材及び原木の市況は依然として保合で変わらず。カラマツ製材の荷動きは落ち着いてきている。原木の入荷が増え、不足感は薄れた感じである。トド・エゾでは、小径木は未だに不足が続いている状況である。梱包材等の動きは、先月と変わらず順調だった。 (全道)
		一般製材	・生産量、製品単価及び売上高についてはほぼ前年並みで推移した。原木入荷は3、4月と比べて減っているものの、昨年より在庫数量は多い。 (幕別)
	窯業・土石製品	砕石	・ゼロ国債事業により、空知地域では農業土木関連事業が多く発注されている。これにより暗渠排水工事でのピリ砂利の動きがあるが、収益好転とまでいかない。一方で災害関係事業も多くでているが、河道掘削事業で発生した砂利については、別途工事に活用するよう発注時に指示がある事から、砂利採取に繋がっていないことが課題である。 (全道)
		砕石	・5月は出荷数量、売上高ともに路盤用、生コン用、アスファルト合材用の全品種で前年対比増加となった。 (札幌)
		砕石	・災害復旧工事が発注されているものの、動きが遅い。一時期、集中で工事がこなせないかもしれない。 (帯広)
		生コンクリート	・5月の生コン出荷量は242千m <sup>3</sup> で、前月比は41.3%増、前年同月比は15.1%増となった。地域別には、前年同月を上回った分会(協組)は29分会(協組)中、16分会(協組)で前年(増加は11分会(協組))を上回った。前年同月と比較して増加したのは十勝地方、札幌、南北海道など。一方、減少したのは富良野地区、千歳地区、小樽地区などであった。 (全道)

製 造 業	鉄鋼・金属	鋳鉄铸件	・水道資材や自動車は前年並みに推移している。マンホールや特殊鋳鋼品、建機・農機部品はやや悪い。従業員の確保難、熟練技術者の退職、原材料費・人件費以外の経費の増加などがある。 (全道)
		金属製品	・造船業界は低迷が長期化して、多額の損失を計上している造船所が多く、事業規模を縮小または撤退する企業も出てきている。新造船価格は相変わらず低く、赤字覚悟で受注しているのが現状である。鋼材等の値上げもあり、当分厳しい状況が続くと予想され、先が見えない。 (室蘭)
	一般機器	金属工作機械	・5月は復興工事関連業種は忙しかったが、他は低調だった。 (札幌)
		金属工作機械	・昨年度と比較すると、全体的での操業度にばらつきがみられた。受注が延び延びになっていた企業ではいよいよ受注となり、操業度の上昇に伴い納期が過密になって従業員に残業を余儀なくする状態が続き、年間を通して受注がある企業では昨年度とほぼ変わらない操業度となった。資金繰りや収益には大きな変化はなかった。 (江別)
	その他製造業	豊	・5月は仕事量が少なく、人手不足も一段落した。 (函館)
非 製 造	卸売業	菓子	・売上はやや増加したが、消費抑制傾向のなかで特売を行うケースが多く、価格は減少傾向にある。小売の商況は前年を超えており、これまでに比べ、やや動きは良くなってきている。 (全道)
		各種商品	・売上高減少が続いていたが、ここに来て売上高増加との回答が増加した。低価格品を中心に販売数量が伸びている。靴履物ではスポーツ志向が弱まり、婦人靴が復調している。卸団地は建物の老朽化対策を含め組合全体の制度等見直しの時期にある。 (札幌)
		各種商品	・外国人に雇用に関する勉強会などを開催した(6/21)。既に実績のある会社の担当者を招聘した。組合員従業員の福利厚生と相互交流などを目的とした、夏のビールパーティー(8/4)や年末のクリスマスパーティー(12/1)の開催が確定している。 (帯広)
業	小売業	各種商品	・5月売上げは全般的にやや不振であった。その中で時計・貴金属等の高価格商品、生活雑貨・住宅関連、自動車関連、パソコン等家電品は幾分好調であった。一見単価が上昇した業種は低下した業種を大きく上回っているが、全体的に個人消費はまだ慎重であると思われる。 (札幌)
		各種商品	・物販見込 104.3% (前年比較) 金融 90.6% (前年比較) ・ショッピングモールでの売り上げ好調と、登録型各種料金の支払い・食料品の売り上げが堅調で、売上高が増加した。収益は、ファイナンス収入の減少と設備投資費用の増加で悪化している。 (旭川)

非 製 造 業	小 売 業	各種商品	・客足は少し戻っているように思われるが、市内の益々の人口減少や高齢化などで依然苦しい状況にある。来客増加につながるようなチラシの入れ方、内容の充実さらなる努力が必要と思われる。 (小樽)
		各種商品	・5月取扱高は天候にも恵まれ、前年比105%の状況。電気ガス料金、ティッシュ、バター、タイヤ等の値上げが実施され、消費者生活での明るい話題は少ないなかで、ふるさと納税のお礼品で白老町ハンバーグや北海道農産品が今年も好調である。 (苫小牧)
		各種商品	・5月の各組合員の状況について 5月の各組合員の状況は、各組合員ともに前月同様、全体的に厳しい状況が続いたとのこと。特に衣料品販売の小売店関係については4月同様、景況感では厳しい状況が続いているという組合員の声が多かった。 ・(株)日専連釧路の5月の取扱高について 5月の取扱高については、全体的に前月に続いて前年を上回る好成績となった。部門別でカード部門、キャッシング部門、個品割賦部門、すべての部門で3月に続き、前年を若干上回る結果となり、好調を維持している。 (釧路)
		野菜・果実	・売上高が前年同月比106%の実績となった。実働日数が多かったことや漬け物など日配品が伸長した。 (札幌)
		各種商品	・函館朝市のGWは、昨年とは打って変わり、車利用の道内客が回復し、期間中の臨時駐車場の利用が前年比62.8%増と大幅な利用増となった。その他の話題としては、先月スタートした道内初のショッピングリハビリ事業は、正式に「おでかけリハビリ」として、現在この取り組みを朝市だけのものとせず、市内および道南全域に展開していこうとスーパーや商店街、大手メーカーや交通機関など各ステークホルダーを巻き込み、コンソーシアム化も検討している。 (函館)
		鮮魚	・釧路市中心市街地への外国人来街客数の減少が気になる。道東自動車道未開通17kmの区間の早期開通が望まれる。 (釧路)

非	小売業	燃料	<p>・原油価格や為替の動き等を踏まえ、5月に入っても仕入れ価格は不安定な状況が続いている。また、末端の需要環境は節約基調を背景に依然厳しく、特に地方販売店の整理・淘汰の動きが顕著となっている。燃料油の減販を見込んで適正収益を確保するには、これまで以上に採算販売を徹底し、経営体質を強化することが緊急の課題である。一部大手企業等にあっては景気の良い話もしているが、特に地方ではまだまだ節約志向をより強めており、消費意欲の減退に危機感を持っている事業者も多い。いずれにしても、5月の販売状況等をみると、為替、原油価格の影響を受け、一時仕切り価格が大幅に上がったこともあり、末端での値取りができ得ない販売事業者も多く、依然厳しい経営環境が続いている。 (全道)</p>
	製	電気機械器具	<p>・売上げは前年比微増の状態である。北海道でも省エネ、暖房機能付きのエアコンの普及が進んでいる。行政、メーカーは4K、8Kの普及に力を入れているが、需要は一部に限られている。本州は不動産、建設ブームと言われ、道内にも波及効果は一部で及んでいるが、経営環境は電気料金やガソリン価格の上昇などのコストアップ要因があり、依然として厳しい。電力とガスの自由化により、契約をめぐる競争が激化している。 (全道)</p>
造		燃料小売業	<p>・ニューヨーク市場のWTI価格は4月3日48.84でスタート。OPECの減産延長の動きから50ドルを超える場面もあったが、米国の原油在庫増と反発反落を繰り返し、31日には48.32ドルと反落した。 小売店の卸価格も5月は横ばいの元売りが多いわりには小売価格が下落傾向になった。相変わらず量販店の影響を受け、従来同様安値価格から適正価格には及ばず、利益圧縮と販売量減で前年・前月と同様に厳しい経営を続けているSSが多い。 (旭川)</p>
	業	自動車・自転車	<p>・5月に入って天候が回復し、修理の依頼が多かったが、月末になると週末の雨天で売上が厳しい状況が続いている。 (全道)</p>
燃料		<p>・5月の原油価格の変動幅は小さかった。4月下旬から一部の量販店の影響を受け、7円の値下げ状態から5月の連休が始まり、利益の無い販売価格となった。月半ばの15日になって値戻し(値上げ)が行われ、やっと利益が上がる状態となった。これによって冬の灯油販売や春のタイヤ交換等であげた利益を5月連休で吐き出すこととなり、次の設備投資準備が出来ない状態で、従業員不足解消のための処遇改善に回す資金も出来ない。負のスパイラルとなりかねない。 (岩見沢)</p>	
中古自動車		<p>・GW明けで小売は少々減少したようである。クレジットの取り扱いも少し減少した。オークション(セリ)の成約ポイントも少し落ち込んでいる。夏商戦に向けて、今後に期待する。 (札幌)</p>	
	商店街	各種商品	<p>・藤丸百貨店の4月上高は4億2,400万円で、入店客数が3ヶ月ぶりに前年同月を上回ったが、前年同月比1.3%の減少。大型店5店の3月上高は19億5,400万円で、前年同月比4.5%の減少、スーパー3社は32億4,500万円で、前年同月比1.5%の増加。6月1日藤丸百貨店に消費税の免税一括カウンターが開設された。「街なか再生プロジェクト」主催の「夏トク! まちなか感謝祭」が、6月8日～7月2日まで実施される。それぞれの事業効果に期待する。 (帯広)</p>

非 製 造 業	サービス業	ソフトウェア	<p>・働き方改革の盛り上がりは、IT機器やソフトウェアを活用した働きやすいオフィス環境を作る官公庁や民間企業のITインフラ構築への投資の拡大が見込め、さらにテレワークなどの在宅勤務が広がればウィルス対策などのセキュリティ需要も増えることから、今後も首都圏大手企業や大手ベンダーから、道内のIT業界へのシステム開発需要は堅調に伸長することが予測されている。</p> <p>IT業界の深刻な人材確保や人手不足、退職者防止を目的に、働き方改革を見据えながら長時間労働を是正して賃金アップに踏み切ることが不可欠になっている。新聞報道では、道内中小企業の95.0%が2017年度に賃金の引き上げを実施する言われている。</p> <p>ただ、生産性の向上や効率化を計らないと労働時間の減少分や賃金アップ分を取り戻せず、企業収益へのインパクトが大きい。もちろん業務の見直しは必要だが、ダラダラした働き方ではなく集中力を高める労働環境の整備や組織体制の整備・構築を経営サイドでも取り組まなければならない実効策ではないか。</p> <p>働き方改革の手段として当組合の企業でも労働環境の改善策として「残業の事前申告制」「有給休暇取得促進」「ノー残業デーの徹底」「半日や時間単位での有給休暇取得」など、まずは長時間労働是正への取り組みを始めたIT企業が多い。抜本的に手を打つというより、できるところから始めているということのようだ。 (全道)</p>
		公衆浴場	<p>・燃料となる重油の値上げなどもなく、現状維持の状態である。(全道)</p>
		旅館	<p>・5月の宿泊入込数は約28,506人で昨年度より1,466人の増加。観光客は国内が減少し、インバウンドも減少傾向にある。 (音更)</p>
	建設業	塗装工事	<p>・4月から新規採用した組合員企業が十数社ある。 (札幌)</p>

非 製	建設業	管工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合員の業況 5月に入り4月に発注された工事7件・業務5件を施行中である。雪解けが早かったこともあり、順調な進捗状況となっている。</li> <li>・問題点 現段階では問題点は見当たらない。</li> <li>・地域の実情 一般的に発注が遅れているが、農業従事者が土木作業員と兼業している方が多いため、施行が本格的になるのは6月に入ってからになる。公共事業の発注は交付金事業に依存していることから6月以降の発注が主で、全体の額が少ないため、発注件数が少なく、競争入札による請負額の低下が懸念される。(名寄)</li> </ul>
		電気工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官庁・民間とも春先発注も順調に出ているが、工事全体は未だそんなに動いてなく、各業者は手待ち状態になっている。今後現場が進めば、多忙になると思われる。各物件が相当数出ているので、人手不足になる模様。(全道)</li> </ul>
		左官工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅系は継続工事案件などで多少売上などが伸びているが、ビルなどを扱う野丁場では大型案件が始動する前で大きな変化はない。(札幌)</li> </ul>
造 業	運輸業	一般貨物自動車運送	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年と比較して馬鈴薯の動きが激減した。馬鈴薯の貯蔵量は非常に少なく、ほぼゼロに等しいと思われる。その他の農産物も目立った動きはない。一般カーゴの動きは例年より鈍化していると思われる。特に北海道発の貨物の減少が大きい。北海道着の貨物は微減ではあるが、全体的に物量が少ない傾向にあると思われる。域内輸送も道外輸送同様で全体的に落ち着いていると思われる。(石狩)</li> </ul>
		一般貨物自動車運送	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共工事にかかわる商品運搬については、上下があるように思われる。(小樽)</li> </ul>
		一般貨物自動車運送	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セメント関連・土木関係が良かったようだ。先月に続き、今月も昨年同期より軽油単価が15%強高く、労働時間圧縮費用もあり、収益率は低下している。(札幌)</li> </ul>
		一般乗用旅客	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高は 前年同月比 1.4 %</li> <li>乗務員数は 前年同月比 5.5 %</li> <li>4月分チケット取扱高は、 前年同月比 5.4 %</li> </ul> <p style="text-align: right;">(旭川)</p>

(中央会、行政庁への要望事項)

製造業	一般機器	金属工作機械	・泊原子力発電所の早期稼働を望む。人を募集しても応募がないため、雇用対策に係る補助金の説明会をひらいてほしい。中小企業向け、停電時に対応する設備投資に係る補助金事業を望む。 (江別)
	窯業・土石製品	生コンクリート	・景気対策として、公共事業費の継続的な確保、住宅投資・設備投資等への刺激策の実施及び北海道新幹線札幌延伸工事の工期短縮等を望む。 ・生コン工場の集約化を推進するための積立金の課税免除等税制措置を創設してほしい。 (全道)
非製造業	小売業	各種商品	・「おでかけリハビリ」事業を今後は全道へも展開していくため、各機関に可能な限りのバックアップを望む。また、スルメイカ（マイカ）漁の不漁は国に要望に行くほど大変深刻な状況となっている。 (函館)
	商店街	各種商品	・景気の後退を回避するため、積極的な経済対策を講じてほしい。 (帯広)
	サービス業	旅館	・道東道長流枝PAでスマートインターを早期に実現してほしい。 (音更)
	建設業	左官工事	・不足する若年技能者の確保のためには賃金・福利厚生の充実等の処遇改善が不可欠であり、もととなる工事量の安定的な確保が重要。このため公共工事・民間工事ともに環境に優れた健康にも優しい天然素材である漆喰・珪藻土等の材料を使用した「左官仕上げ塗り壁」の積極的な採用、左官工事量の確保・拡大が図られることが望まれる。 (札幌)